

## 特集

# 富士山の環境保全活動を知る

富士山で行われている環境保全活動の一部を御紹介します。この他にも各団体・企業がさまざまな取り組みを行い、富士山の環境保全に努めています。環境が良くなったということが目に見えるようになるには、時間がかかりますが、富士山周辺で行われている活動の一つ一つが、富士山全体の環境保全へとつながります。ぜひ、できることから少しずつ参加をしてみてください。

### 富士山一斉清掃

毎年お盆の時期に静岡県側3登山口で同日に清掃活動を行います。山梨県側も同様の「クリーン作戦」を実施します。近年は、このようなボランティアの方々の活動や登山者の協力によって五合目以上のゴミはほとんどありません。これからも富士山を訪れる人々が、美しさを保つために協力したいと思えるような活動を続けていきます。(本年度は雨天中止)



### 富士山環境学習

環境保全活動を進めるためには、次世代を担う、子どもたちの意識啓発が重要となります。工場見学や富士山への来訪を通じて、環境保全について学びます。具体的には身近な食品や商品が生産される過程で使用する水や出されるゴミのリサイクルの仕組みや、富士山の森や湧水などの自然とのふれあいを通じて富士山の役割や自然の大切さを伝えます。



### 下草刈り

風倒被害を受けた国有林に植樹を行い、その後、植樹した木の成長を促すために下草を刈り取ります。自然な森へ育てていくために、自生種の植樹とその育成を進めています。野生動物との共生を図り、長い目で見た森づくりを行うための一環として下草刈りは、重要な活動のひとつです。

### 富士山国有林

## Mt.FUJI

### 山小屋トイレ整備

平成14年度から、し尿のたれ流しによる富士山の汚染を防ぐため山小屋に、オガクズやかき殻を利用した微生物処理方式等で、富士山の厳しい自然条件と利用条件の中で環境負荷の少ないトイレを設置しています。



←ちなみにこれは『にかい雲』  
こんな雲の日は、荒天に注意!!



### 富士山エコレンジャー

富士山を訪れる人に対して、登山者自身の安全と環境を守るために、ルールやマナーを伝えます。ゴミの持ち帰りなどの環境保全への協力を呼びかけます。また、植物や登山道に関する質問等にもお答えしています。

### 湧水保全

富士山の湧水は、工業用水や生活用水として、幅広く利用されています。湧水の枯渇は深刻な問題で、各団体が保全活動を進めています。富士山麓での植樹を通じた水源涵養や湧水池の調査など方法はさまざまですが、富士山の恵みを大切に、貴重な資源を守る活動です。



### 富士山の“4階建て”説とは

富士山は10万年前、安山岩からなる小御岳火山の裾野に誕生、玄武岩質の火山灰や溶岩を繰り返し噴出し、それをおおおうように3776mの高さまで成長した。小御岳の火口跡は北側の小御岳神社付近(標高2300m)に見られる。富士山は古くから泥流や火山灰を多量に噴出してきたが、約1万年前に大量の玄武岩溶岩を山頂火口から御殿場付近を除くすべての方向に流してほぼ現在の山体をつくった。そのため、同じ火山ではあるが、それより前の火山活動を古富士、以降を新富士と区別して呼んでいる。

最近、東京大学地震研究所によるボーリング調査で、小御岳の地下から多量の泥流や珪酸に富む角閃石安山岩が見出され、これが古い別の火山の可能性もあることから、“先小御岳”、小御岳、古富士、新富士の4階建てか?との新聞報道がなされた。現在、年代や火山学的な研究がすすめられているので、やがて富士山より古い年代の火山活動について興味深い結果が得られると期待される。(土 隆一)